



Aquaculture  
Stewardship  
Council



# August 2022

## ASCニュースレター



# 消費者および認知度調査の結果



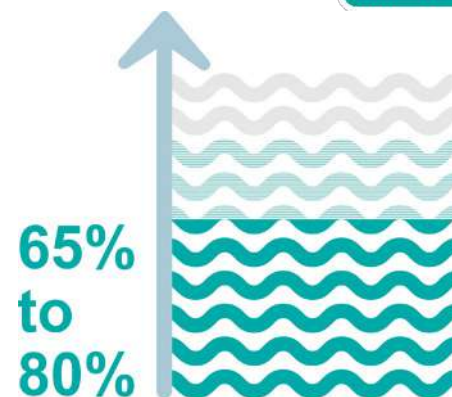
ASCでは、12か国の12,000人以上の消費者に、水産物に関する認識とその消費についてインタビューを行い、これまでで最も包括的な消費者調査を完了しました。

養殖水産物については、ASCが最も認知されている認証スキームです。回答者の2/3がASCラベルを知っているオランダで最も認知度が高く、その後にベルギー（60%）、ドイツ（58%）、フランス（48%）、米国（46%）が続いています。

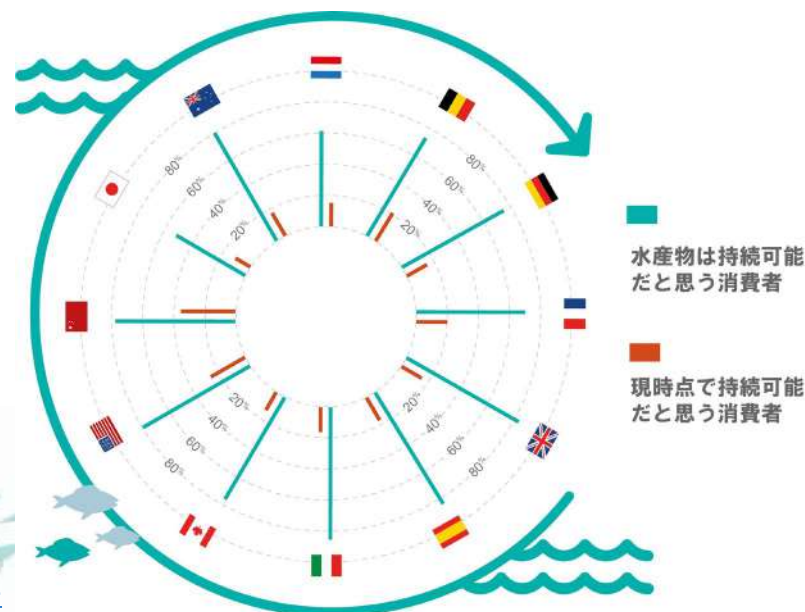
一方、日本におけるASCラベルの消費者認知度は23%と諸外国と比較して遅れています。しかし、2019年の調査結果（9%）と比較しますと、すでに155%も伸びており、日本での展開が非常に期待されます。

調査によると、ASCラベルへの信頼は一般的に高く、フランスでは68%、そして、イタリア、英国、米国、オーストラリアではさらに80%以上の信頼を得ています。さらに、過半数がASCロゴを持続可能性と責任に関連付けています。

詳しくはこちら → <https://jp.asc-aqua.org/news/latest-news/most-comprehensive-asc-consumer-research-to-date-highlights-potential-of-seafood-to-be-sustainable-source-of-protein/>



「持続可能な魚の購入は海に良い影響を与える」と考えている



# ASC CoC認証 追加要件 チェックリスト公開



ASCは、2023年5月30日より、加工・流通過程（CoC）の追加要件を発表しました。現在の保証システムを強化し、認証水産物の区別やラベルの付け間違い、食品の安全性、抗生物質の使用といった緊急課題に対処し、具体的な製品チェックを増やすことを目的としたものです。

今回適用される対象は、ASC認証水産物のみ適用となります。2023年5月30日以降の定期・更新監査の際に、該当する企業は、追加要件に適用しなければなりません。世界食品安全イニシアチブ（GFSI）認定スキームによる認証、あるいはISO 22000の認証が含まれます。加工・梱包・再包装の業務が含まれる企業で以下の免除事項に該当しない企業が対象です。

## 【適用免除事項】

1. 年間売上高200万ユーロ未満(非認証水産物を含む)
2. 年間水産物取引量200トン未満(非認証水産物を含む)
3. 水産物関連事業スタッフ50人未満(現場スタッフ以外の総務・品質管理、繁忙期に雇用する臨時スタッフも含む)

チェックリスト →



## ASC Chain of Custody (CoC) Module



<https://www.asc-aqua.org/wp-content/uploads/2022/06/ASC-CoC-Checklist-Guide.pdf>

# ASC認証とSDGs



ASCは、国連の17の持続可能な開発目標（SDGs）に含まれる169の目標にどの程度、直接的あるいは間接的に貢献しているのか、詳細を評価するプロジェクトを実施しました。

SDGsの169の目標のうち約半分（49%）が水産養殖業の活動範囲の対象と考えられ、ASC認証は、これらの目標の80%以上を「ある程度」または「かなり」対応しているとの調査結果でした。

今回の調査結果はこちらから[ダウンロード](#)可能です。方法論と評価を含む詳細報告書は、2022年秋に発行される予定です。またASCは、この作業を定期的に更新/改訂する予定です。

## SDG別に見るASC平均貢献度



● あまり ● ある程度 ● かなり

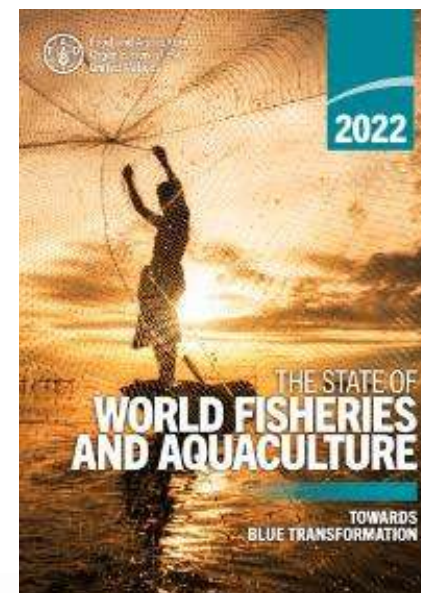
# SOFIAレポートに対するASCの見解



国連食糧農業機関 (FAO) が隔年で発行する「世界漁業・養殖業白書 (SOFIA)」は、水産養殖管理協議会 (ASC) にとって重要な参考文書です。白書を利用することで、業界全体にわたる基準引き上げに向けて作業の規模と範囲を追跡することが可能となります。

最新の報告は、2022年6月末に公開されました。主な論点と、それがASCにとって意味するところは、次のとおりです。

- 水産養殖生産量は過去最高 (2020年は1億2,260万トン)
- 漁業・養殖セクターは、もし持続的な方法がとられるならば、増加する世界人口を養える可能性が大きい
- 水産物の生産は何百万人もの生活を支えるが、小規模生産者の労働条件の改善も必要
- 「ブルー・トランスフォーメーション」が必要



**SOFIAレポート全文は画像をクリック**

詳しくはこちら ➡ <https://jp.asc-aqua.org/news/latest-news/our-take-on-the-latest-state-of-world-fisheries-and-aquaculture-report/>

# 第24回ジャパンインターナショナルシーフードショー



ASCジャパンは、8月24日から26日まで、東京ビックサイト東館で行われた「第24回ジャパンインターナショナルシーフードショー」に出展しました。コロナの影響ということもあり、3年ぶりの参加となりました。

ブースでは、身近な小売店で購入できる水産物や株式会社ダイニチのASCタグ付きマダイの展示、SDGsに関する資料を配布しました。（ニュースレターでSDGsを紹介しているページからダウンロードできます）

ご来場者の方と話をさせていただいた中で、増々ASC認証への関心が強まっていると感じました。また、今後の統一養殖場基準・飼料基準・CoCモジュールといった内容にご興味を持つ団体様も多かったです。

これからも積極的にイベントやセミナーを開催して参ります。



# 国内ASC養殖場認証取得数



2022年8月1日現在、国内養殖場の認証取得状況をお知らせします。

**82**養殖場（**14**件） 審査中養殖場：19養殖場（1件） ★[ウェブサイト](#)からもご覧いただけるようになりました★

企業数 (取得順)	養殖場数	生産企業・漁協	所在地	魚種	ラテン名（英語名）	認証状態
1	5	宮城県志津川漁協戸倉	宮城県	牡蠣	<i>Crassostrea gigas</i> (Pacific cupped oyster)	取得
2	3	黒瀬水産（日本水産）	宮崎県	ブリ	<i>Seriola quinqueradiata</i> (Japanese amberjack)	取得
3	1	グローバルオーシャンワーク	鹿児島県	ブリ	<i>Seriola quinqueradiata</i> (Japanese amberjack)	取得
4	62	宮城県漁業協同組合 石巻地区支所・石巻湾支所・石巻市東部支所	宮城県	牡蠣	<i>Crassostrea gigas</i> (Pacific cupped oyster)	取得
5	1	アクアファーム（マルハニチロ）	大分県	ブリ	<i>Seriola quinqueradiata</i> (Japanese amberjack)	取得
6	1	ユーグレナ	沖縄県	ユーグレナクロレラ	<i>Euglena gracilis</i> (Euglena) <i>Chlorella sorokiniana</i> (Chlorella)	取得
7	1	鹿児島県東町漁協	鹿児島県	ブリ	<i>Seriola quinqueradiata</i> (Japanese amberjack)	取得
8	1	奄美養魚（マルハニチロ）	鹿児島県	カンパチ	<i>Seriola dumerili</i> (Greater amberjack)	取得
9	1	ジャパンサーモンファーム	青森県	ニジマス	<i>Oncorhynchus mykiss</i> (Rainbow trout)	取得
10	1	FRDジャパン	千葉県	ニジマス	<i>Oncorhynchus mykiss</i> (Rainbow trout)	取得
11	1	マルキン	宮城県	銀鮭	<i>Oncorhynchus kisutch</i> (Coho salmon)	取得
12	1	ダイニチ	愛媛県	マダイ	<i>Pagrus major</i> (Red seabream)	取得
13	2	弓ヶ浜水産株式会社	鳥取・新潟	銀鮭	<i>Oncorhynchus kisutch</i> (Coho salmon)	取得
14	1	熊本県海水養殖漁業協同組合	熊本県	マダイ	<i>Pagrus major</i> (Japanese seabream)	取得
(15)	19	宮城県漁協北上町十三浜支所青年部グループ	宮城県	ワカメ・コンブ	<i>Undaria pinnatifida</i> (Wakame) <i>Laminaria japonica</i> (Kelp)	審査中

# 認証済および審査中の養殖場



認証済		審査中		認証済		審査中		
アワビ	49	6	ブリ・スギ	17	1			
二枚貝	364	119	エビ	489	652			認証済 合計
カレイ目の魚類	1	9	ティラピア	36	4			1,764
パンガシウス	41	4	淡水マス	6	1			審査中 合計
サケ	599	113	熱帯魚類	83	39			987
スズキ・タイ・オオニベ	58	13	海藻*	21	28			

\* ASC/MSC  
基準の海藻



# 魚種別による認証生産量



魚種	生産量 (mT)	魚種	生産量 (mT)
アワビ	2,101	ブリ・スギ	3,796
二枚貝	153,492	エビ	341,599
パンガシウス	104,369	ティラピア	112,721
サケ	1,344,401	淡水マス	6,112
スズキ・タイ・オオニベ	51,547	熱帯魚類	42,490
海藻	387	認証済 合計	2,163,015

# ASC認証データ



- ASC養殖場認証取得者数  
世界：1764（前年 1469）  
国内：82（前年 90）
- ASC CoC認証取得者数（標準）  
世界：2836（前年 2618）  
国内：177（前年 159）
- ASCロゴ付き消費者向け製品数  
世界：22,544 製品  
国内：473 製品

## CoCリスト

ASC商品を取り扱っている国内のCoC企業  
（177社）8月1日現在

日本語のCoCリストを作成しましたので、ご  
興味のある方はダウンロードしてください。



こちらより  
ダウンロードできます

# ASC認証に関する商品/メニュー/サービス PR コーナー開始



毎月のニュースレターに、商品/メニュー/サービスに関するPRコーナーができました。CoC認証を取得している企業や認証水産物に興味のある企業の担当者全員へ送っているのので、主要マーケットへダイレクトに宣伝することができます。

毎月、先着順にて掲載させていただきます。この機会に是非ご利用くださいませ!



## 【お申し込み方法】

ご希望の方は以下のファイルに必要情報を記入し商品や参考画像と共にお送りください。

<https://www.asc-aqua.org/wp-content/uploads/2020/06/ASC-Product-PR-Sheet.xlsx>

担当: 松井([daisuke.matsui@asc-aqua.org](mailto:daisuke.matsui@asc-aqua.org))

# 尾家産業株式会社 ASC認証 サラダえび



- ASC認証を取得したえびを使用した商品になっております。
- 下処理不要、自然解凍でお召し上がり頂けます。
- サイズが3種類あるため用途によって使い分けることができます。

**おいしい海**  
**サラダえび**

保存に便利な  
チャック付

解凍してすぐに食べられます!

沸騰後に殻をむくことで  
色目が良く、風味がしっかり  
しています!

この商品は、ASCのASC水産物管理団体  
の基準に認められた責任ある  
養殖管理のもと育てられた水産物  
です。www.asc-aqua.org

ASC-C-02401

原材料名 バナメイ(えび)、食塩  
原産国 ベトナムもしくはインドネシア  
規格 種 パッキング: 1kg 形態: IQF

原料サイズ	1kgあたり個数 (目安)
41/50	約145尾
51/60	約175尾
61/70	約205尾

栄養成分表示(100g当たり)

熱 量	101 kcal
たんぱく質	22.1 g
脂 質	0.5 g
炭 水 化 物	0.7 g
食塩相当量	0.4 g

サンプル品分析による推定値

サラダに!

パスタに!

サンドイッチに!

尾家産業株式会社

商品名： ASCサラダえび

規格： 41/50,51/60,61/70 IQF

重量： 1kg

原料： バナメイエビ、食塩

原産国： ベトナムもしくはインドネシア

尾家産業株式会社

URL： <https://www.oie.co.jp/>

オンラインショップ： <https://www.rakuten.co.jp/sanpuraza/>

商品PR

ASC（水産養殖管理協議会）ジャパン  
<https://jp.asc-aqua.org/>

このニュースレターに関する問い合わせ先  
担当：川田 直美

Email: [naomi.kawata@asc-aqua.org](mailto:naomi.kawata@asc-aqua.org)

記事を二次利用されたい方は、お問い合わせください

※配信停止をご希望の方は、[送信元](#)へ「配信停止」とご連絡ください。